

研修だより NO.2

世羅町立せらひがし小学校

令和6年4月24日（水）

《研究主題》

「図形」領域において、数学的な見方・考え方を活かし、子ども自ら進める授業づくり
～「ICT機器の利活用」や「ふりかえり」の充実を通して～

1 宮内先生の授業を振り返って



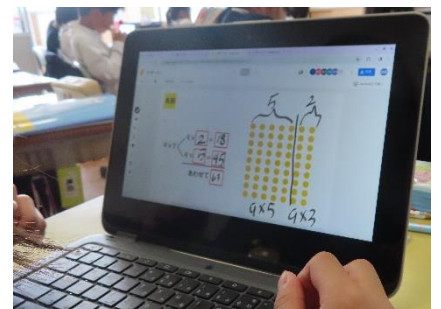
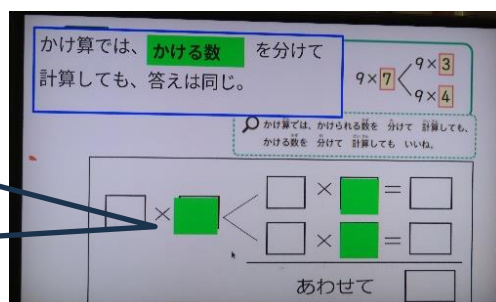
【めあてへのもっていき方】

・前時と比べて「違うところ」「難しくなったところ」などを挙げて本時のめあてを立てる。
→宮内先生は、前時の授業は 9×4 のドット図を横に分けて（かけられる数を分ける）考えたことをふりかえり、本時は、縦にわけること（かける数を分けること）ができるかどうかを児童に最初に聞き、「できそう！」と意欲を引き上げてめあてを立てていましたね。

【ICTを効果的に使った学習活動】

・ジャムボードで問題にそってドット図を「分ける」活動ができる。
→具体物（ブロック・おはじき）だと、準備に時間がかかり、さらに一対一対応の理解が難しい子には題意の理解に時間がかかる…。
・適用題を用意し、繰り返しかける数を「分ける」ことで、かけ算のしくみを理解できる。
・ふりかえりをフォームで行う。
→質問に、選択肢があることによって、記述が難しい児童も回答することができ、教師も授業のふりかえりや児童理解ができる。

かける数を緑色にかえることで、視覚支援にもなり、よりスムーズに適用題を解くことができていましたね！



【めあてとまとめのつながり】

「めあて」は、「まとめ」（学習のゴール＝付けたい力）から 作ります。教師がどのような「めあて」で授業し、児童生徒がどのような「姿」になれば、その結果、どのような「力」が付くのか、「ねらい（付けたい力）」を明確にして 授業に臨むことが大切です。そうすれば、自ずと「めあて」と「まとめ」がしっかりとつながります。

【ふりかえり】

ふりかえりの時間をしっかりとる。（5分）

→今日の学習で自分が何を学んだのか。何が分かったのか。それを今後どう生かしていきたいのか、アウトプットすることで、より理解が深まることもある。

【学習アイコン】

- ・板書の中で学習過程を視覚的に示す。
- ・こんな使い方もあります。

活動時間の目安を示すこともできますね！！

グループで 考える	15分
ループリック	5分



児童が意欲的に学習する姿が
印象的でしたね！！

宮内先生、お忙しい中授業を公開して下さい、
本当にありがとうございました！！

